

(学校番号088) 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【太田小学校】

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R4年度市学習状況調査の自校結果を受け、国語・算数の「基礎問題」にあたる問題について、正答率を2pt向上させる。	⇒ R5年度全国学力・学習状況調査の自校結果を全教職員で共有する。また、学力向上タイムでの「ドリルパーク」や「スタディサプリ」の活用を通して、基礎的な学習内容を定着させる。練習問題の時間を十分に確保し、自分で進度や学習に係る内容を調整できるよう指導する。
思考・判断・表現	R4年度市学習状況調査の自校結果を受け、国語・算数の「思考・判断・表現」において正答率を2pt向上させる。	⇒ R5年度全国学力・学習状況調査の問題から、今、求められる思考力等を全教職員が考える。また、自分の考えをまとめ、ことばにする機会を意図的に設けることで、自分の考えを整理させる。授業内でのふり返りの時間を重視し、自分が学習し、できるようになったことを実感させる。
主体的に学習に取り組む態度	R4年度市学習状況調査において、「国語(算数)の勉強が好きですか」の質問項目において、肯定的な回答を5pt向上させる。	⇒ 達成感を味わわせられるように個別最適な学びを充実させる。子どもたちが「学びたい。」と思える課題設定をするなど、学習計画を工夫する。また、振り返りの時間を意図的に設定し、できるようになったことに目を向けさせる。

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	国語：漢字等の言語に関する問題に課題が感じられる。「言葉の特徴や使い方に関する事項」について大きく下回った。 算数：「知識・技能」に係る問題でも平均との差がみられた。 学習の基礎となる知識・技能の習得を目指す。
思考・判断・表現	国語：「読むこと」に関しては、平均と大きな差はみられなかった。「話すこと・聞くこと」については、平均との差が開いていた。インタビューや意見の伝え合いなどの際、目的意識・相手意識等を明確にもたせ、体験的な学習を取り入れていく。 算数：領域としては、「変化と関係」と「データの活用」での課題がみられる。特に、「思考・判断・表現」に係る問題でのつまづきが多く、自分の考えを説明する際に、必要なデータや情報を収集し、活用すること、学んだことを活用する場を設定し、継続的に取り組んでいく。
主体的に学習に取り組む態度	国語・算数：全国平均、市平均ともに、本校の「教科別平均無解答率」の差が国語も算数も下回っている。「問題に最後まで取り組む。」「自分の考えを解答に残す。」という指導を継続したい。また、「学習が好きである」という肯定的な回答も低かったので、学習の楽しさを味わわせられる授業を展開できるよう改善を図る。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒
思考・判断・表現	変更なし	⇒
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価
 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)